

NEWS RELEASE



健康未来、創ります

日本新薬

2019年3月25日

日本新薬株式会社

広報部

TEL : 075-321-9103

各位

米国内分泌学会年会における iron isomaltoside 1000 試験結果発表のお知らせ

日本新薬株式会社（本社：京都市南区、社長：前川重信、以下「当社」）はこのたび、Pharmacosmos A/S（本社：デンマーク ホルバック市、社長兼最高執行責任者：Lars Christensen、以下「ファーマコスモス社」）が、米国ニューオーリンズで開催された the ENDO congress（内分泌学会年会）において、鉄欠乏治療剤 iron isomaltoside 1000（イソマルトシド鉄 1000、以下「本剤」）と ferric carboxymaltose（カルボキシマルトース第二鉄）との比較試験結果を発表したとの情報提供を受けましたのでお知らせします。

ファーマコスモス社は、本剤とカルボキシマルトース第二鉄との直接比較 2 試験からなる PHOSPHARE 試験を実施し、上記内分泌学会年会にて両剤の低リン血症および線維芽細胞増殖因子 FGF23 を介した影響について発表しました。PHOSPHARE 試験では、245 例の被験者に対して、低リン血症の発生率、重症度および期間が評価されました。本試験結果の詳細については、ファーマコスモス社 WEB サイト <https://www.pharmacosmos.com/news-media/news> をご参照ください。

当社は、2016年12月にファーマコスモス社と本剤に関するライセンス契約を締結し、日本国内では、NS-32の開発記号で鉄欠乏性貧血の患者対象に開発を進めています。女性に多い鉄欠乏性貧血の治療剤は、婦人科領域のニーズに合致する品目と考えており、本剤をできるだけ早期に医療現場に提供することで、鉄欠乏由来の症状に苦しむ患者さんの治療に貢献できるものと期待しています。

<補足説明>

【イソマルトシド鉄 1000】

本剤は、静脈注射用に開発された鉄と炭水化物の複合体であり、海外では一般名 ferric derisomaltose、商品名 Monofer® または Monoferric®として既に、鉄欠乏または鉄欠乏性貧血治療剤として世界 30 カ国以上で発売されています。

【日本新薬について】

日本新薬は会社創立以来、100 年間にわたり研究開発型の新薬メーカーとして、特長あるくすり創りに取り組んでいます。泌尿器科、血液内科、難病・希少疾患を中心に、婦人科、耳鼻咽喉科を注力領域として、未だ満たされていないメディカルニーズに応える新薬の開発に挑戦し、患者さんにお届けしています。詳しくは、当社 WEB サイトをご覧ください。

<http://www.nippon-shinyaku.co.jp>

【ファーマコスモス社について】

デンマーク Holbaek（ホルベック市）に本社を構える、静注鉄剤と糖に関する研究開発に 50 年以上の歴史を有する一族経営の国際的ヘルスケア企業です。研究志向の企業として、鉄欠乏及び鉄欠乏性貧血の患者さんに貢献する研究開発プログラムに注力しています。世界では鉄欠乏性貧血の患者が 10 億人を超え、毎年 18 万人が死亡すると推定され、世界的に大きな健康問題の一つとして数えられます。詳しくは、ファーマコスモス社 WEB サイトをご覧ください。 <https://www.pharmacosmos.com/>

以上